



校長 斉木 邦彦

「がんばれ！西高生」「くじけるな！西高生」――

本校は明治35年5月1日、山梨県高等女学校として甲府市寿町、現在のコニー文化ホールの地に開校され、以来115年の歴史を積み重ねて参りました。大正13年から太平洋戦争期までの甲府高等女学校の時代を経て、戦後の学制改革によって甲府第二高等学校へ、さらに甲府総合選抜制度のもとでの男女共学への移行を間近にした昭和50年2月、ここ下飯田の地に校舎を移転しました。その2年後、共学の学年がそろった昭和52年4月、校名を甲府西高等学校と改め、今日に至っています。平成9年4月の単位制への改編から21年目になりますが、科目選択を重視する単位制の特性をさらに生かし、あわせて本校教育のさらなる充実と発展を期して、平成32年度の国際バカロレア導入を目指し、昨年からの準備に着手したところです。

本校の校訓「自己を知り、自己を深める」は、自己を見つめ、自己が生きて世界を見つめていく中で、自分や世界についての知識を身につけ、自

分という存在、さらには自分と世界との関係について探究していくべきことを示しています。新入生の皆さんは、この校訓のもと、学業に、部活動に、若い情熱を傾けてください。すぐに結果を求めようとする風潮に飲み込まれることなく、今この時をじっくり生きてほしい。自分の人生を存分に生きる、本来そうした力がすべての人に与えられているのです。私たちは自分を信じ、自分に与えられている力を、時に尊大になったり、時に卑屈になったりすることなく、何の計らいもなく素直に伸ばしていくことが求められていると思います。これは、自分の個性や才能に忠実に生きていく、ということです。自分に対する思いやりを持つ、ということでもあります。そして、自分に対する思いやりを持てる人こそが、人に対して思いやりを持てるのだと思います。皆さんが高校生活を通じてこのことを学んでくださることを願っています。

この3月、校舎の壁面に、本校校歌三番の後半の歌詞を横断幕の形で掲げました。「称へなむとこしへかけて 甲府なるわが西高」。甲府西高校は、西高生と西高卒業生をいつまでも応援し続ける学校でありたいと思います。

(第71回入学式式辞より)

満開の桜の下、4月8日新入生240名が新たに仲間入りしました。



nstage
Kofu Nishi High School

山梨県立甲府西高等学校
〒400-0064 山梨県甲府市下飯田4丁目1-1
TEL:055-228-5161 FAX:055-228-5164
URL <http://www.nishi.kai.ed.jp/>

発行日/2017.5 編集/広報委員会



*stage /steɪdʒ/
[「立っている場所」が原義] ― ㊦ (㊧) ~s/-iz / ㊨
1 舞台、ステージ(◆世界の象徴)
2 [活動の]舞台、場所 [for, of]
3 (発達・発展などの)段階、時期
用例) 1 N-stage 西高生の時代(時期)
2 N-stage 西高生の活動舞台

vol.49

2017.5 甲府西高情報誌

西高のステージへ!

山梨県立甲府西高等学校
Kofu Nishi High School

nstage

秀づべき資性のたまやま
生い立たす愛の母校よ

稱へなむとこしへかけて
甲府なるわが西高



はじまります 私たちの N.stage